

ココバスにシルバーパスを 市民が市に要請 小金井市「東京都に要望している。ご不便を改善したい」

7月11日「東町ココバス等を考える会」から6名が参加し森戸よう子市議とともに、ココバスにシルバーパスを利用できるようにすることなど、市に対し申し入れました。

申し入れの内容は、①ココバスにシルバーパスも使えるようにすること、②東町循環と中町循環の乗り継ぎの利便を図るための時間調整と乗り継ぎ券の発行、③東町1，5丁目にココバスを運行させることなどです。

市は、①について、東京都に対し、改善を要望している。市独自で補助することは難しい、②については、新庁舎建設に合わせて今年度から4年間かけてココバスの全体の運行を改変するための予算を付けた。市民のニーズやアンケート等を行い、ご不便を改善したい、③以前から要望が強いが道路幅が狭く難しいと、回答しました。

参加者からは、「3年も4年も待てる話ではない。当面乗り継ぎ時間の調整を考えてほしい」、「ココバスは高齢者の足の確保の意味もあったはず。京王バスのルート変更の新しい事態の中で起きたことだから改善を」、「この問題について意見交換の場を地元で開いてほしい」など多くの声がだされました。

意見を聞く場は「要請があれば伺います」との回答でした。

なおココバスの運行など審議する小金井市地域公共交通会議へも同様の要望書を渡してくださるよう依頼しました。



市に申し入れを行う「東町ココバスを考える会」のみなさん

障がい者差別解消条例の修正可決 市は国を向いて仕事するのではなく、 障害者と向きあって施策を充実させて

西岡市長から第1回定例会に、「障害のある人もない人も共に学び、共に生きる小金井市条例案」が提案され、継続審議となっていました。第2回定例会で9項目の修正案を厚生文教委員会としてまとめ、全議員が賛成し、可決させることができました。

私からは、市民の意見を聞く場を設ける事を提案し、厚生文教委員有志による意見交換会の開催が実現。修正内容としては、障害者の合理的な配慮に防災訓練や災害時の対応を加える事や教育の分野で障害者（児）への理解を深める事、聴覚障害者の情報伝達を条文に位置づけることなどです。

私は、「国の法令や政令との調和を図りながら施策を推進することが明記されている。国を見て仕事をするのではなく、障がい者と向き合って、障害者の利益のための仕事をすべき」と指摘し、賛成討論しました。



（左から1人おいて森戸、紀、遠藤、白井、片山、岸田、田頭各市議（水上市議は委員長のため加わらず）

女性の願い実現をめざし奮闘中

★女性相談員は正規職員で

森戸よう子市議は、西岡市長の「行革」の一環である「女性相談員」の正規職員の非常勤化方針汚撤回を求めてきました。これまで正規職員が1人しかおらず年間延べ500件を超える相談に対応していました。職場から増員の要求が出ていましたが、西岡市長は、正規職員から非常勤2名に変更しました。

非常勤職員は週30時間の勤務。残業も年間40時間です。これでは、様々な悩みを持つ女性の相談に対応するのは限界です。

安心して相談できる体制を求めて奮闘中です。



★森戸市議の質疑が契機で

教育委員会のセクハラ等の防止策を策定

森戸よう子市議は、第2回定例会で市内小中学校のセクハラやパワハラについての対応を適切に行うことを要求していました。

厚生文教委員会で、市教委がセクハラ、パワハラ対策要綱を作成中であることを明らかにしました。

